

## マルコの福音書 2章1~12節 神のみが罪を赦す

今週から、マルコの福音書の2章に入ります。この2章に述べられている最初の出来事は、とてもなじみのある場所で起こっています。この出来事はカペナウムのペテロの家で起こったと考えられています。この出来事はとても有名なので、おそらく私たちの教会の日曜学校に行く子供であれば、誰でも知っている話だと思います。4人の男たちが友だちを連れてイエスに会いに行き、人だかりが多すぎたため、友達を屋根から降ろさなければならなかったという物語です。しかし、この物語は、単なる癒し以上のものを私たちに示しているのです。つまり、神のみが罪を赦すことのできるお方であることを示しているのです。では、マルコによる福音書2章1節から12節を読み、罪の赦しがこの出来事の重要なポイントであることを見ていきましょう。 **マルコの福音書 2章1~12節** <sup>1</sup>数日たって、イエスが再びカペナウムに来られると、家におられることが知れ渡った。<sup>2</sup>それで多くの人が集まったため、戸口のところまで隙間もないほどになった。イエスは、この人たちにみことばを話しておられた。<sup>3</sup>すると、人々が一人の中風の人を、みもとに連れて来た。彼は四人の人に担がれていた。<sup>4</sup>彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかつたので、イエスがおられるあたりの屋根をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている寝床をつり降ろした。<sup>5</sup>イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。<sup>6</sup>ところが、律法学者が何人かそこに座っていて、心の中であれこれと考えた。<sup>7</sup>「この人は、なぜこのようなことを言うのか。神を冒瀆している。神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか。」<sup>8</sup>彼らが心のうちでこのようにあれこれと考えているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを考えているのか。<sup>9</sup>中風の人に『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。<sup>10</sup>しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために——。」そう言って、中風の人に言われた。<sup>11</sup>「あなたに言う。起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。」<sup>12</sup>すると彼は立ち上がり、すぐに寝床を担ぎ、皆の前を出て行った。それで皆は驚き、「こんなことは、いまだかつて見たことがない」と言って神をあがめた。

まず、ここで話の事実関係を見て行きましょう。現代にいる私たちからすると、屋根をはがし、穴を開けるといのは、とても奇妙に感じられます。しかし、当時のイスラエルとパレスチナの地域では、一般的に家屋の屋根は平らで、家の外側にある階段でアクセスできるようになっていました。屋根は耐久性のある素材でできているというわけではなく、土からできており、定期的に修繕をする必要がありました。部屋の主要な部分は、古い伝統的な日本の家屋のように、小さな棒を茅で覆い、さらに泥で覆うことによって作られていました。このような家屋の構造であったため、屋根を掘ることは、それほど難しくなかったのです。当時の屋根は、現在の家のベランダのような役割を果たしていました。人々は、洗濯物を干したり、食事をしたり、くつろいだり、祈ったりするのに利用していました。過去にも見てきたように、イエスが家におられると、大勢の人々が集まってきました。その様子が、2節には次のように書かれています。<sup>2</sup>それで多くの人が集まったため、戸口のところまで隙間もないほどになった。イエスの話を聞くために集まった群衆は、実はマルコの神学にとって重要な意味を持っています。クリスマスの前に行ったメッセージの中ですでに触れましたが、群衆はマルコの神学の中では肯定的なものとは考えられていません。実際、マルコの福音書の中で群衆は、多くの場合、人々がイエスに近づけないようにする存在として描かれています。これらの群衆は真の信仰を持つ人々ではなく、せいぜいイエスの崇拝者であるに過ぎません。今日も世界中でイースターやクリスマスのみを祝っている人々は、マルコのいう群衆と同じタイプの人々であると考えられます。クリスマス、また、イースターを（イースターはクリスマスほどではないが）、何らかのキリスト教的方法で祝う人は、世界中に何百万人もいます。しかし、これらの人々はこの2つの機会以外では、キリスト教と何ら関わりも持っていません。これらの人々は、クリスマスとイースター以外に教会に行くことはなく、イエスをよりよく知るために聖書を個人的に探究することはありません。世界には、大多数が歴史的にキリスト教とつながりのある特定の民族に生まれ、赤ん坊のときに洗礼を受け、クリスチャンと呼ばれる人々が何百万人もいます。しかし、民族的あるいは血統としてクリスチャンであることと、キリストの信者であることは同じではありません。マルコの福音書の出来事で言えば、これらの人々（民族的あるいは血統としてクリスチャンである人々）は、イエスを崇拝する群衆の一員ではありますが、本当の意味でイエス・キリストに従う者ではないのです。

民族的にクリスチャンだから、クリスチャンの両親のもとに生まれたから、あるいはイエスの教えに感謝しているから、自分はクリスチャンだと信じている人はたくさんいます。しかし、本当のクリスチャンであるためには、すなわち、イエス・キリストに真に従う者であるためには、イエスがなぜ地上に来られたのかを理解していなければなりません。つまり、イエスが、あなたを創造主である神から引き離れたあなたの罪のために死んでくださったことを理解していることが求められるのです。群衆は、自分たちが罪を悔い改め、救い主としてイエスを受け入れる必要があることを認識することができず、外側にとどまっていた。彼らは、物理的にはイエスの近くにいたかもしれないが、その心はイエスに本当に従う者に求められる信仰からはかけ離れていました。この群衆たちは、真の信仰とは何かを私たちに示した男たちと非常に対照的です。この4人の男たちは、イエスが彼らの友人のために信じられないようなことをしてくださるといふ信仰心に基づき、彼をイエスのもとに連れて行くために屋根を掘ったのです。5節は、イエスが彼らの信仰を認めてくださったことを示しています。**5イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。**その日、イエスの話を聞いていた群衆は大勢でしたが、このような中で、イエスが起こした唯一の奇跡は、イエスを信仰していたと明言されているこの5人のために起こりました。これは、彼らの信仰ゆえだったのです。聖書の中で、信仰は常に神の御業を起こすための触媒なのです。**マタイの福音書17章20b**には次のように書かれています。**もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。**」ヘブル人への手紙11章は、信仰を旧約聖書で神の民が行った行いと結びつけ、天地創造を通して神を認めることから始まる神との関係のあらゆる部分が、信仰に基づいていることを教えてくれます。**ヘブル人への手紙11章1~3節**、**1**さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。**2**昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。**3**信仰によって、私たちは、この世界が神のことで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。さらに、私たちにとって最も重要なことは、信仰こそが救いをもたらすということです。**ローマ人への手紙 5章1~2節** **1**こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。**2**このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいきます。しかし、ここで「信仰こそが救いをもたらす」と言ったときの一般的な理解に対して警告させてください。それは、信仰さえあれば、神は私を癒してくださる、あるいはお金を与えてくださる、という一般的な見解です。シンガポールの有名なメガチャーチ（非常にたくさんの信者がいる教会）の牧師であるジョセフ・プリンスは、昨年、「正しく信じ、良きを見よ（Believe Right and See Good）」というタイトルの説教を行いました。彼のこの説教の中に、このような一般的な見解を見ることが出来ます。彼は次のように言いました。「**第一に、私は健康と富の福音（Health and Wealth Gospel）を信じていません。私は恵みと平和の福音を信じています。私はイエス・キリストの福音を信じています。しかし、その結果として、信仰は私に感情的な健康をもたらし、肉体的な健康をもたらすのです、アーメン。また、信仰は豊かな人間関係をもたらし、あなたの人生のあらゆる領域であなたを祝福するのです、アーメン。**」カリフォルニアにあるベテル教会の主任牧師のビル・ジョンソンは、「**イエス・キリストこそ神学の完成形（Jesus Christ is Perfect Theology）**」と題する説教を行い、繁栄の福音（Prosperity Gospel）の一つの考え方を示しています。「**神はすでにその人の癒しを買い取られたのに、どうして癒さないという選択をすることができるのでしょうか。神の血はすべての罪に対して十分だったのではないのでしょうか、それとも特定の罪に対してだけだったのでしょうか。神が負われた鞭打ちは、特定の病気のためだけだったのでしょうか、それとも特定の期間のみに有効だったのでしょうか。主がその身に鞭打たれたとき、主は私たちの奇跡の代価を支払われたのです。主はすでに癒すことを決められたのです。何かをすでに買ってしまった後で、買わないという選択することはできないのです。**」

みなさん、ここに述べられていることは、福音が約束していることではありません。福音が約束しているのは霊的な癒しであり、肉体的な癒しではありません。実際、**第二テモテへの手紙3章12節**には、この種の教えとは正反対のことが書かれています。**12**キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。だから、私たちの側の信仰が大きくなったからといって、より大きな繁栄や健康が得られるわけではないのです。実際、私たちが何らかの方法で信仰を成長させ、自分自身に大きな信仰を作り出すことができるという考えそのものが、良く言えば誤解であり、悪く言

えば全くの誤った信仰なのです。エペソ人への手紙2章8節-9節は、この真実を明確に示しています。<sup>8</sup>この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。<sup>9</sup>行いによるものではありません。だれも誇ることはないためです。この5人にイエスのもとに友人を連れて来るだけの信仰を与えてくださったのは、神だったのです。そして、この物語のポイントはここにあります。なぜなら、ここでイエス・キリストへの信仰への応答として起こったことは、イエスへの真の信仰への応答として常に起こることであり、それは肉体的な癒しではないのです。マルコの福音書2章の5節に戻って、この信仰に対するイエスの反応を見てみましょう。5節、**イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。**とあります。さて、イエスは4人の男たちが半身不随の男を担ぎ、その4人の男たちの信仰に基づいて、半身不随の男の罪を赦したのでしょうか？このように解釈する理由はなさそうです。半身不随の男にも、4人の男たちに自分を担がせて、イエスの元に行こうと考えるだけの信仰はありました。しかし、群衆が癒しを必要としていると考えたのが、半身不随の男であったので、イエスはその男に向かって語りかけているのです。ただし、イエスの発言は、私はあなたを癒します、などというのではなく、あなたの罪は赦された、というものでした。ここで、イエスは、信仰がどのような癒しをもたらすかをはっきりと示しています。その癒しとは霊的なものです。私だけかもしれませんが、なぜ半身不随の男を運んでいる男たちが、半身不随の男だけに赦しを与えたことに動揺したり、なぜ別の肉体的な癒しを求めたりしないのかということ、私はよく考えていました。彼らは、これが本当にイエスが提供している最高の癒しであり、罪からの霊的な癒しによって、その人は肉体的な必要性を別の角度から見るができるのだと理解したのかもしれませんが。イエスへの信仰が肉体的な癒しをもたらすのではなく、肉体的な苦しみを前にして平安と喜びをもたらしたことを証しする人は非常に多いのです。

むしろ、イエスがこの男の罪を赦したことを問題視したのは、半身不随の男を担いだ男たちではなく、ユダヤ人の宗教指導者グループのひとつである律法学者たちでした。彼らは、イエスがこの罪を赦すことの意味を理解していたので、イエスがこの罪を赦すことに強く反対しました。6-7節には次のように書かれています。<sup>6</sup>**ところが、律法学者が何人かそこに座っていて、心の中であれこれと考えた。**<sup>7</sup>**「この人は、なぜこのようなことを言うのか。神を冒瀆している。神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか。」**律法学者たちは、このことを口に出してはいなかった。ただ考えていただけでした。しかしイエスは、8節に述べられているように、彼らの心や考えさえも知っておられました。しかし、彼らの考えは間違っただけです。罪の赦しの力は神の独占的な権利であって、人間は誰も行うことができない行為なのです。それが、私たちプロテスタントの教会には神父がおらず、牧師がいる理由の一つです。ローマ・カトリックや聖公会とは異なり、私たちは、人間が罪を赦す権利を持っているとは信じていません。罪を赦すことができるのは神だけなのです。もちろん、私たちは自分に対する個人的な攻撃や罪に対して他人を赦すことはできますし、神はそれを期待しておられます。しかし、その場合も私たちが罪を赦したことによって、その人が神に対して犯した罪が赦されるわけではありません。

罪を赦すことによって、イエスは自分がメシアであり、神そのものであることを宣言していました。律法学者や群衆の多くは、イエスが本当に神だとは信じていませんでした。彼らはイエスを単に偉大な教師であり、癒し手であるとしか見ていなかったのです。イエスのこの自分が神であるという主張は、律法学者に応答し、半身不随の男を癒すときに、イエス自身が使った称号の中に現れています。9-11節を見てください。<sup>9</sup>中風の人に『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。<sup>10</sup>しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために——。」そう言って、中風の人に言われた。<sup>11</sup>「あなたに言う。起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。」「人の子」という称号は、ダニエル書7章で初めて使われた称号で、来るべきメシアのことを指しています。**ダニエル書 7章13-14節、私がまた、夜の幻**を見ていると、見よ、人の子のような方が天の雲とともに来られた。その方は『年を経た方』のもとに進み、その前に導かれた。<sup>14</sup>この方に、主権と栄誉と国が与えられ、諸民族、諸国民、諸言語の者たちはみな、この方に仕えることになった。その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがなく、その国は滅びることがない。聖書の専門家である律法学者たちは、イエスの発言は自分自身がメシアであり、神ご自身だけが持つことのできる神の栄光と神の力を持っていると主張していることだと、理解

していました。罪を赦すことは、肉体的な癒しを与えることよりもはるかに難しいことは明らかですが、ある意味では癒しの方が難しいのです。なぜならば、罪を赦すことは、半身不随の男とおそらく彼を運んでいた男たちの内側で起こったことだからです。つまり、その奇跡は表面的には見えないので、簡単に否定してしまふことができます。それに対して、イエスが神としての力を持っていることを証明するために行なった肉体的な癒しは、そう簡単に否定したり、無視したりすることができないものです。だからこそ、イエスは半身不随の男を癒されたのです。そして彼は起き上がることができたのです。12節には次のように書かれています。**12すると彼は立ち上がり、すぐに寝床を担ぎ、皆の前を出て行った。**イエスが与えてくださる奇跡的な癒しは瞬時のものであり、今日この力を持っていると自称しているスピリチュアル・ヒーラーたちとは大きく異なっています。つまり、ある意味で律法学者たちは正しかったのです。彼らは罪を赦すことができるのは神だけである、と主張していたのですから。しかし、彼らはイエスが神であるということを理解できなかったという点において、間違っていました。だから、イエスは、真の霊的癒しを与えることができるのは自分であり、罪の赦しはイエスによってもたらされることを、肉体の癒しによって証明したのです。

イエスは今日でも、私たちが利用できる唯一の罪の赦しの源なのです。聖書は、私たちが最も必要としているのは罪の赦しであると宣言しています。[ローマ人への手紙3章23節](#)にあるように、「**すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**」なのです。そして、単に群衆の中の一人であること、教会堂でイエスの信者たちと一緒にいるだけでは、罪の赦しを得ることはできないのです。自分の罪を悔い改め、その罪を赦すために死んでくださった唯一の方であるイエスに信仰を置くことによってのみ、罪の赦しを経験することができるのです。群衆の一員であることと、イエスの弟子やイエスに従う者であることは違うのです。今日ここにいる皆さんの中にも、群衆の一員であって弟子ではない人がいるのではないかと思います。群衆はただ見ているだけです。しかし、本当の信仰を持ったイエスの弟子は、その行動によって、奉仕によって、イエスに従うことによって、自分たちの信仰を示します。群衆が見守る中、4人の男たちはイエスを信じる、彼らの信仰を示すために屋根を掘り進みました。彼らの信仰は、罪の赦しによって報われ、イエスが罪を赦す力を持っているという証明は、彼らの友人の半身不随の男を肉体的に癒すことによって示されました。**神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか、**という律法学者たちの皮肉に対する答えは、イエスのみが罪を赦すことができるというものです。なぜなら、イエスは神であり、肉体的にも、さらに重要な霊的にも、当時の人々、そして今日の私たちを癒す力を持っているからです。また、イエスはその真実をはっきりと示されたからです。私たちがこの真理を認識するとき、イエスに対する私たちの応答も、当時の人々の応答のように、**それで皆は驚き、「こんなことは、いまだかつて見たことがない」と言って神をあがめた。**と言うものに変わっていかねばならないのです。私たちの罪を赦すことのできる唯一のお方として、悔い改めと信仰をもってイエスに従うことは、神に栄光をもたらし、私たちの人生を永遠に変えることになるでしょう。この半身不随の男の人生が、以前のものとは全く異なったものになってしまったように。それでは祈りましょう。

## Mark 2:1-12 God forgives sins

This morning we are starting chapter 2 of the book of Mark. The first event we come to happens in a very familiar setting. In fact, this event may have happened at the home of Peter in Capernaum again. It is a well-known Sunday School story that most of the children in our church could probably tell you, about 4 men bringing their friend to see Jesus and having to let him down through the roof. But this story shows us far more than just another healing. **It shows that God is the only one who can forgive sin.** Let's read through this story first in Mark 2:1-12, and then examine how forgiveness of sin is the key point in the event. **2 And when he returned to Capernaum after some days, it was reported that he was at home. <sup>2</sup> And many were gathered together, so that there was no more room, not even at the door. And he was preaching the word to them. // <sup>3</sup> And they came, bringing to him a paralytic carried by four men. <sup>4</sup> And when they could not get near him because of the crowd, they removed the roof above him, and when they had made an opening, they let down the bed on which the paralytic lay. <sup>5</sup> And when Jesus saw their faith, he said to the paralytic, "Son, your sins are forgiven." // <sup>6</sup> Now some of the scribes were sitting there, questioning in their hearts, <sup>7</sup> "Why does this man speak like that? He is blaspheming! Who can forgive sins but God alone?"<sup>8</sup> And immediately Jesus, perceiving in his spirit that they thus questioned within themselves, said to them, "Why do you question these things in your hearts? // <sup>9</sup> Which is easier, to say to the paralytic, 'Your sins are forgiven,' or to say, 'Rise, take up your bed and walk'? <sup>10</sup> But that you may know that the Son of Man has authority on earth to forgive sins"—he said to the paralytic— <sup>11</sup> "I say to you, rise, pick up your bed, and go home." <sup>12</sup> And he rose and immediately picked up his bed and went out before them all, so that they were all amazed and glorified God, saying, "We never saw anything like this!"**

First, let's explain the details of the story here. We look at digging through roof and it seems very strange to us. But homes in the area of Israel and Palestine during that time, typically had roofs that were flat and fully accessible by staircases on the outside of the home. Far from being made of permanent materials, the roofs were actually designed from earth based materials that needed to be pulled apart and resurfaced occasionally. The main means of the room were crossed by smaller sticks and covered with thatch like in old traditional Japanese houses and then covered with mud. This would not have been that difficult to dig through. The roof at that time would function like a deck area on a house does today. It would have been a place to dry laundry, eat a meal, just relax or pray. As we have seen happen regularly, Jesus being in the home drew crowds of people. Verse 2 describes it as in this way...**2 And many were gathered together, so that there was no more room, not even at the door.** The crowds gathered to hear Jesus are actually significant to Mark's theology. We discussed this before Christmas, that crowds were not considered a positive thing in the book of Mark. In fact, the single most common action of a crowd in Mark is actually to keep people from having access to Jesus, which is what we see here. These crowds are not people of true faith, but rather more like admirers at best. I think today, we could think of these people in terms of those who celebrate Easter and Christmas around the world even today. There are millions of people who will celebrate Christmas especially or Easter to a lesser degree in some sort of Christian way. But there is no actual involvement with Christian faith outside of those two occasions. They will usually never go to church apart from that, and there is no personal searching of the Scriptures to know Jesus better. There are millions of people in the world who are born in certain ethnicities where the majority are

historically connected with Christianity, they are likely baptized as babies and called Christian their entire life. But being ethnically or nationally, Christian, is not the same as being a follower of Christ. In terms of the events in the gospel of Mark, this is the same as being part of the crowd of Jesus admirers, but not really followers of Jesus Christ.

There are plenty of people who believe they are Christians because of birth or the fact they were born to Christian parents or even because they appreciate the teachings of Jesus. But to be a Christian, a true follower of Jesus Christ, means you recognize why Jesus came to earth. That was to die for your sin, which has separated you from God, who created you. The crowds did not recognize their sin and repentance or their need for Jesus as their Savior, so they remained on the outside. They may have been close to Jesus physically, but their hearts were far from the faith required of those who truly followed Jesus. This sets up the contrast for us with the men who showed us what true faith really is. It was these 4 men, who in their trust that Jesus could do the unbelievable for their friend, dug through the roof in order to get him to Jesus. Verse 5 shows us Jesus's recognition of their faith. **5 And when Jesus saw their faith, he said to the paralytic, "Son, your sins are forgiven."** There were many many people in the crowd watching and listening to Jesus that day, but the only miracle that Jesus performed was for these 5 men who we are explicitly told had faith in him. It was their faith that made all the difference. Faith is always the catalyst for God's work in the Bible. [Matthew 17:20b](#) says, *For truly, I say to you, if you have faith like a grain of mustard seed, you will say to this mountain, 'Move from here to there,' and it will move, and nothing will be impossible for you.* Hebrews 11 ties faith to the work that people of God did in the Old Testament and tells us that every part of our relationship with God starting with acknowledging him through Creation is based on faith. [Hebrews 11:1-3](#) says, *Now faith is the assurance of things hoped for, the conviction of things not seen. For by it the people of old received their commendation. By faith we understand that the universe was created by the word of God, so that what is seen was not made out of things that are visible.* Most important for us, faith is what brings about salvation. [Romans 5:1-2](#) says, *Therefore, since we have been justified by faith, we have peace with God through our Lord Jesus Christ. Through him we have also obtained access by faith into this grace in which we stand, and we rejoice in hope of the glory of God.* But I do want to warn you against a popular view of faith that many think this story promotes. That is this...if I have enough faith, then God will heal me or give me money, etc. *Joseph Prince, a very famous Singaporean Pastor of a mega-church provides an example of this in a sermon last year entitled, "Believe Right and See Good." He says, Number one, I don't believe in the health and wealth gospel. I believe in the gospel of grace and peace. I believe in the gospel of Jesus Christ. But the result, it causes emotional health, it causes physical health, amen, it causes prosperous relationships and, yes, even bless you in every area of your life, amen.* Bill Johnson, Senior Pastor of Bethel Church and Bethel music fame in California has a different take on the prosperity gospel that he calls, "Jesus Christ is Perfect Theology." *He says How can God choose not to heal someone when He already purchased their healing? Was His blood enough for all sin, or just certain sins? Were the stripes He bore only for certain illnesses, or certain seasons of time? When He bore stripes in His body He made a payment for our miracle. He already decided to heal. You can't decide not to buy something after you've already bought it.*

Brothers and sisters, that is not what the gospel promises to bring. The gospel promises spiritual healing, not physical. In fact 2 Timothy 3:12 says exactly the opposite of these sorts of teaching when it says, **12 Indeed, all who desire to live a godly life in Christ Jesus will be persecuted**... So greater faith on our part does not entitle us to greater prosperity or greater health. In fact, any understanding that we can in any way grow our faith and create greater faith in ourselves is a misunderstanding at best and outright false teaching at worst since faith is God's work and God's gift to us. **Ephesians 2:8-9** makes this clear. **8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast.** So, it was God who gave these 5 men faith enough to come and bring their friend to Jesus. And this is where the point of the story lies. Because what actually happens in response to faith in Jesus Christ is what always happens in response to true faith in Jesus...and it is not physical healing! Let's go back to verse 5 again in Mark 2 and see what the response is by Jesus to this faith. **when Jesus saw their faith, he said to the paralytic, "Son, your sins are forgiven."** Now is he seeing the faith of the 4 men carrying the paralyzed man and then forgiving his sin based on their faith? There does not seem to be a reason to look at it that way. The paralyzed man had faith as well given that he allowed his friends to do this for him. But the paralyzed man was the one who the crowd could see needed the healing, so Jesus directing his statement towards him makes the most sense. Except, that the statement is not, I heal you or something like that; but instead is I assure you, your sins are forgiven! Jesus is making it very clear what kind of healing faith brings. That healing is spiritual. Maybe it's just me, but I've often thought about the fact that the man being healed and the men carrying him do not seem to get upset about this or ask for different physical healing. It seems that they may have understood that this really was the best healing that Jesus was offering, and that with spiritual healing from sin, the man could see the physical need in a different light. There are so many testimonies of those whose faith in Jesus does not result in physical healing, but in peace and joy in the face of physical suffering.

No, *instead of the men carrying the paralyzed man being upset*, it was the Scribes, one of the groups of religious leaders of the Jews who took issue with Jesus forgiving this man's sin. They strongly disagreed with Jesus doing this because they understood what it meant. Verse 6-7 says, **<sup>6</sup>Now some of the scribes were sitting there, questioning in their hearts, <sup>7</sup>"Why does this man speak like that? He is blaspheming! Who can forgive sins but God alone?"** Notice the scribes were not even saying this out loud. They were just thinking it! But Jesus knew their hearts and what even their thoughts were as verse 8 goes on to say. But they were not wrong. The power of forgiveness of sins is the exclusive right of God, not any human being. That is one reason why we do not have priests, we have pastors. Unlike the Roman Catholic and Episcopal priests, we do not believe that God gives any man the right to provide absolution for sin. Only God can do that. Now of course, we can and God expects us to forgive others for personal offenses and sins against us, but we are not absolving that person even then of the guilt of their sin against God.

By forgiving sins, Jesus was absolutely declaring that he was God's Messiah and God himself. The religious leaders and many in the crowds never believed he was actually God. They simply looked at him as a great teacher and a healer, but he was claiming a much greater identity as God himself. That claim is inherent in the title he uses for

himself as he responds to the Scribes and heals the paralyzed man. Look at verses 9-11. <sup>9</sup> Which is easier, to say to the paralytic, 'Your sins are forgiven,' or to say, 'Rise, take up your bed and walk'? <sup>10</sup> But that you may know that the Son of Man has authority on earth to forgive sins"—he said to the paralytic— <sup>11</sup> "I say to you, rise, pick up your bed, and go home." Son of Man is a title first used in Daniel 7 talking about the coming Messiah. Daniel 7:13-14 says, <sup>13</sup> "I saw in the night visions, and behold, with the clouds of heaven there came one like a son of man, and he came to the Ancient of Days and was presented before him. <sup>14</sup> And to him was given dominion and glory and a kingdom, that all peoples, nations, and languages should serve him; his dominion is an everlasting dominion, which shall not pass away, and his kingdom one that shall not be destroyed. The scribes as experts in the Scriptures knew that this was Jesus claiming to be God's Messiah and having the right to God's glory and God's power that only God himself could have. Now, to forgive sins is obviously much harder to do than to provide physical healing, but in a way, the healing is harder. To forgive sins is something that happened on the inside of the paralyzed man and likely the men carrying him. So, that miracle could be easily dismissed. But a physical healing to prove that Jesus truly had the power as God that he claimed, that could not be so easily disproved. So, Jesus healed the man. And he was healed. Verses 12 says, <sup>12</sup> And he rose and immediately picked up his bed and went out before them all... The miraculous healing that Jesus provides is instantaneous, much different than the faith healers that claim for themselves this power today. So, in a way, the Scribes were correct, only God can forgive sins. But they were wrong, because they did not believe that Jesus was God. So, he proved by the physical healing that he is the one who can give true spiritual healing and that forgiveness of sins comes through him.

Jesus is still the only source of forgiveness of sins available to us today. The Bible declares that our greatest need is forgiveness of sin. Because as [Romans 3:23](#) tells us, [All have sinned and fall short of the glory of God](#). And simply being a part of the crowd, being in a church building with followers of Jesus does not bring that forgiveness of sins. But repenting of your sin and putting your faith in him as the only one who died to forgive you for that sin that is the only way to experience that forgiveness of sin. Being part of the crowd is not the same as being a disciple or follower of Jesus, and I'm afraid that some of you here today are part of the crowd and not a disciple. The crowd just looks on, but real faith is shown by action, by serving, by following Jesus. While the crowd watched, the 4 men dug through a roof in demonstration of the faith they had in Jesus. Their faith was rewarded with forgiveness of sin, and the proof of Jesus's authority to do this was given by physically healing their friend. The answer to the cynical question asked by the Scribes, [Who can forgive sins but God alone](#)... is Jesus. Because Jesus is God, and he demonstrated that for the people and for us by the power to heal physically and more important, spiritually. When we recognize that truth, it should change our response to Jesus so it becomes that of some who were there that day. [they were all amazed and glorified God, saying, "We never saw anything like this!"](#) Following Jesus in repentance and faith as the only one who can forgive our sins will bring glory to God and change our lives forever in the same way this paralyzed man's life would never be the same. Let's pray.